

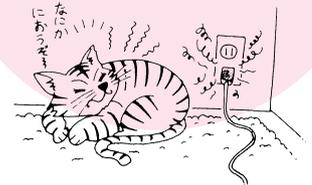


その油断 火から炎へ 災いへ

問 広域消防署 ☎ 4 3 4 1 5 1

平成15年の火災発生状況

気をつける！
老朽化した電気コードから出火
電気コードが原因となる火災が発生しています
古い電気コードはお早めに交換してください



昨年1年間に発生した火災は16件で、前年と比較して10件の減少でした。これは広域消防署が発足した昭和48年以来、最少の火災発生件数となりました。
火災種別では建物火災が12件で全体の75%を占めています。火災による損害額は3、200万円の前年より4、100万円減少しています。
発生原因を見ると、放火の疑いが3件、布団乾燥機のコードの劣化、ガスこんろの消し忘れ、車両の電気配線からの出火が各2件となっています。
3人が逃げ遅れなどで死亡しています。特に、高齢者世帯で火災が発生した場合、逃げ遅れることが予想されますので、十分注意しましょう。
今年も地域ぐるみで防火に努めましょう。

火災種別発生件数

区分	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
建物	24	21	28	20	14	21	15	28	22	12
林野	2	3	3	4	1	5	0	6	1	0
車両	1	4	3	6	2	5	4	2	1	3
その他	3	1	1	1	2	5	3	2	2	1
合計	30	29	35	31	19	36	22	38	26	16

平成15年
火災発生件数16件
損害額 3、200万円

防火一口メモ

消防署では消火訓練の指導および防火講話などを行っています。
町内からの申し出をお待ちしています。



A.Q.
お年寄りを火災から守るために気を付けることは？
寒くなると布団のまわりで火を使うことが多くなりますが、ちよつとしたはずみで火災が起きることがあります。
暖房器具の周りは常に整理整頓ししておくよう気を付けましょう。

